

納税、のち、ヘラクレスメス のべつ考える日々

著者名： 品田遊  
出版社： 朝日新聞出版

ダ・ヴィンチ・恐山こと作家・品田遊による大反響エッセイ集、第2弾！ 2000日を超える日記には「こちとらこう生きるしかないんだ」という、人間にしか出せない迫力がある。古賀及子さんとの対談も特別収録。

くちぐせえほん

著者名： 監：齋藤 孝  
出版社： 日本図書センター

「だって」「つかれた」「むり」「めんどくさい」—— こんな言葉、【くちぐせ】になっていない？ふだんにげなく使っている「くちぐせ」を通じて、【ポジティブ思考】を育む絵本。「だいじょうぶ」「やってみよう」「いいね！」などの「よいくちぐせ」と、「だって」「つかれた」「めんどくさい」などの「よくないくちぐせ」。それぞれの特徴や、心や行動への影響を、親しみやすいイラストとともに説明します。5～8歳向け。

クジラがしんだら

著者名： 江口絵理  
出版社： 童心社

クジラが死んだらどうなる？—深海という厳しい世界に生きるユニークな生きものたちの、いつかの大宴会を描いた物語絵本

毎日ほどほどにどうにか生きてるねこの日記

著者名： ひよこ  
出版社： KADOKAWA

仕事のこと、暮らしのこと、悩みは尽きない。でもいろいろ考えてどうにか生きてるねこが主人公のコミックエッセイです。仕事がかたくなかったり、やろうと思っていたことが全然できなかったり、日常は思った通りに運びません。そのたびにうじうじしながらも、考えて、行動に移したり、移せなかったり。読めばなんでもない日常がいとおしくなること間違いなし。共感力100%の新しいねこ漫画です。

恋とか愛とかやさしさなら

著者名： 一穂 ミチ  
出版社： 小学館

カメラマンの新夏は啓久と交際5年。東京駅の前でプロポーズしてくれた翌日、啓久が通勤中に女子高生を盗撮したことで、ふたりの関係は一変する。「二度としない」と誓う啓久とやり直せるか、葛藤する新夏。啓久が”出来心”で犯した罪は周囲の人々を巻き込み、思わぬ波紋を巻き起こしていく。信じるとは、許すとは、愛するとは。男と女の欲望のブラックボックスに迫る、著者新境地となる恋愛小説。

カフネ

著者名： 阿部 暁子  
出版社： 講談社

最愛の弟が急死した。29歳の誕生日を祝ったばかりだった。姉の野宮薫子は遺志に従い弟の元恋人・小野寺せつなと会うことになる。無愛想なせつなに憤る薫子だったが、疲労がたたりその場で倒れてしまう。実は離婚をきっかけに荒んだ生活を送っていた薫子。家まで送り届けてくれたせつなに振る舞われたのは、それまでの彼女の態度からは想像もしなかったような優しい手料理だった。久しぶりの温かな食事に身体がほぐれていく。そんな薫子にせつなは家事代行サービス会社『カフネ』の仕事を手伝わないかと提案する。食べることは生きること。二人の「家事代行」が会う人びとの暮らしを整え、そして心を救っていく。

もしものせかい

著者名： ヨシタケ シンスケ  
出版社： ポプラ社

自身の悲しい経験により、この物語を描かないと先に進めない——つまり、少し前の“ヨシタケシンスケ”にとって、『もしものせかい』はどうしても描く必要のある物語だったそうです。悲しみや喪失感を忘れようとしたり、もとの自分を取り戻そうとしたりするのはなく、その経験そのものをまるごと抱えて生きていくこととは？そして「その先」への思いが詰まっています。「もしものせかい」を持つすべての人へ。

四つ子ぐらし(20) 遊園地デートはパニック寸前!?

著者名： ひの ひまり  
出版社： KADOKAWA

三風です♪ いとこの李央くんのおさそいで、リュミファイブとコラボ中の遊園地に遊びに行くことになったの！でも、遊園地はリュミファイブのファンでいっぱい。もし、李央くんがファンに見つかって、そっくりなトウキくんを見間違われて大騒ぎになったら、二鳥ちゃんのデートがめちゃくちゃになっちゃう！そうならないように、私たちは、こっそり『ある作戦』を実行することになり…？

**改訂版 本当の自由を手に入れる お金の大学**

著者名： 両@リベ大学長  
出版社： 朝日新聞出版

142万部突破の『お金の大学』が超・パワーアップ！「新NISA」などの金融制度にも完全対応。さらに「証券口座やクレカ、銀行などの選び方」「超危険な金融商品リスト」など、新規内容も50ページ以上追加。実践しやすいお金の教養がてんこ盛りの一冊！

**横浜市のトリセツ**

著者名： 昭文社 出版 編集部  
出版社： 昭文社

「横浜にも自然の砂浜が現存？ 平潟湾に浮かぶ野島の魅力」「東海道新幹線が停車する新横浜駅はなぜあの場所に？」「小机城や茅ヶ崎城など横浜の中世城郭7城」「区画が周囲とここだけなぜ違う？ 開港で生まれた日本一の中華街」など、地元の市民でもあまり知らない大都市・横浜市の横顔を地質や歴史、文化、産業などのジャンルからテーマを選びすぐって解説。横浜ってこんなおもしろいエピソードがあったのか！と自分の住む街がますます好きになること請け合い。地理好きだけでなく、誰でも楽しく読めるマップエンターテインメント「トリセツシリーズ」横浜市版の誕生です。

**楽園の楽園**

著者名： 伊坂幸太郎  
出版社： 中央公論新社

大規模停電、強毒性ウィルスの蔓延、飛行機墜落事故などが立て続けに発生し、世界は急速に混乱に陥った。これらすべての原因は謎の人工知能『天軸』の暴走と考えられた。五十九彦（ごじゅくひこ）、三瑚嬢（さんごじょう）、蝶八隼（ちょうはっかい）の選ばれし3人は、人工知能の開発者が残したという巨大な樹の絵画『楽園』を手掛かりに、暴走する『天軸』の所在を探る。旅路の果てには、誰も想像できない結末が待ち受ける。

**マンガでわかる 認知症**

著者名： 吉田 美紀子  
出版社： 池田書店

「認知症」は、高齢化社会の進行とともに今後ますます身近なテーマになっていくと考えられます。そこで、本書では、マンガを使って、認知症の基礎知識、認知症の人の行動の意味、認知症の人の気持ち、本人の視点に立ったケア、制度の利用法などをわかりやすく解説。認知症になったからといって、人生終わりではありません。すべてがわからなくなってしまうわけではなく、「うれしい」「悲しい」といった感情は心に残ります。その人であることに変わりはなく、今までどおりに接することが大切です。認知症は、誰にでも、いつか起こりうる未来。認知症に対する誤解を解き、「自分ごと」として考えていきたいものです。

**100日後に死ぬ×（バッテン）ネズミ**

著者名： きくちゆうき  
出版社： 双葉社

日本中の涙を誘った4コママンガ『100日後に死ぬワニ』の続編となる『100日後に死ぬ×（バッテン）ネズミ』が発売。ワニは死んだのか？ 残されたネズミはどう生きたのか、そして事故の真相が描かれる。衝撃の一日、100日目の「あの日」から、ネズミ、ワニ、モグラ…それぞれ新たな100日間を描いた物語。本作には新エピソードが掲載。センパイとワニの恋愛と最期の別れを描いた「センパイとワニ『17日間の恋人』」描き下ろし新作もお楽しみください。

**大学的神奈川県ガイド - こだわりの歩き方**

著者名： 平山昇  
出版社： 昭和堂

この本を読めば神奈川を見る目が変わる！ 観光・地理・考古・民俗・歴史・農といった領域の研究者が、新鮮な視点で神奈川を紹介。

**猫の刻参り**

著者名： 宮部 みゆき  
出版社： 新潮社

化け猫、河童、そして山姥——狂気に塗れた苦界を生き抜く女と、化生の者どもが織りなす怪奇譚。江戸は神田三島町にある三島屋の次男坊富次郎は、変わり百物語の二代目聞き手。飼い主の恨みを晴らす化け猫、命懸けで悪党壊滅に挑む河童、懺悔を泣き叫ぶ山姥が登場する客人の身の上話を聞いている。一方、兄・伊一郎の秘密の恋人が出奔。伊一郎の縁談を巡って、三島屋は大騒動に巻き込まれてしまう……。

**宮崎駿イメージボード全集となりのトトロ**

著者名： スタジオジブリ  
出版社： 岩波書店

「高畑さんは「僕と宮さんで目指したものの頂点だ」と言ったんです」（本書巻末掲載、鈴木敏夫インタビューより）。屈託のない子どもの一瞬や独特のキャラクターを描いたイメージボードから、物語を膨らませてつくられた「となりのトトロ」（1988年公開）。制作過程で洗練を重ねた、生命感あふれる全219枚を収録。